

2006 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 文学部コミ3回生	担当者 前川 和子
授業テーマ 多様な公立図書館を、多角的にアプローチする。		
授業の概要と目標 国内の各地方自治体を母体として、公立図書館が設立されている。公立図書館の存在意義とは、身近にあって地域住民の疑問や知識への要求を満たしてくれる情報源、楽しみのための読書を公的に提供するところなど、さまざま定義されている。それは、それぞれのコミュニティに住む人々の希望により、さまざまなサービスとして現れることになる。住む人にとって親切で豊かな図書館サービスを探り、公立図書館の本来の存在とはどのようなものかを探る。		
評価方法 出席、レポート、ゼミでの発表をあわせて、評価する。		
テキスト 必要に応じてプリント等を配付。	著者	出版社
参考書 必要に応じて提示。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 公立図書館 2. 公立図書館についての情報収集 3. 身近な公立図書館 4. 日本 の 話題 の 公立図書館 5. 外国 の 話題 の 公立図書館 6. インターネット時代の公立図書館		